

サポート研修 「講演会」

【実施日】	1月20日（火）
【受講決定者数】	255名
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 壮絶な戦場の状況を伝えていただき「日本は夢の国、幸せの極致にいる」という言葉が身に染みて感じられました。今自分たちが置かれた状況をプラスに捉えチャレンジできることにはチャレンジし毎日明るく楽しく仕事や周囲の方々との協力関係を築いて過ごしていきたいと思いました。 ・ 日々の当たり前を大切に、今職場にある関係、知識・経験等をきちんと積み重ねて後の人やシステムに残していきたいと改めて感じた。 ・ 渡部陽一氏の講演会を通じ、戦場の現実が静かな語り口で胸に迫った。写真一枚の裏にある人生や葛藤、報道の使命と責任を考えさせられた。日常の当たり前の脆さを知り、行政の立場で何を守るかを見直す機会になった。人々に伝える言葉の重みと覚悟を感じ、自分の業務でも“誰か”を想像して寄り添いたい。平和を守る対話と学びの重要性を痛感した。参加して良かった。大きな学びだった。 ・ 講師の渡部陽一さんの話を聞いて、自分の目的(子どもたちのために写真を撮り、実態を知らなかった人たちに届ける架け橋となる)のために、困難があっても進み続ける姿が本当に、言葉に尽くせないほど素晴らしいです。渡部陽一さんの師匠のおっしゃるとおり、石の上にも15年、そして45年。自分にはできることは限られているけど、その中で着実に、区民のみならず国民全体のためにできることを続けていきたいです。